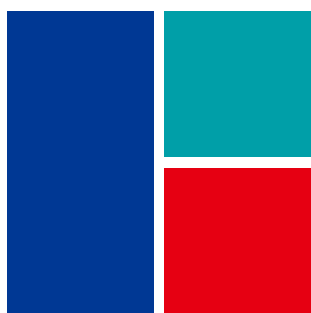




国立大学法人

鹿屋体育大学 ご支援のお願い

2025年度版

NIFS
KANOYA



大学への支援内容

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| ■ 鹿屋体育大学基金
(未来創成基金・修学支援基金) | ■ 寄附金 |
| ■ NEW 課外活動支援基金 | ■ 産学連携(共同研究・受託研究・受託事業) |
| ■ Giving Campaign | ■ NEW【準備中】クラウドファンディング |
| ■ 課外活動団体スポンサー支援 | ■ ネーミングライツ |
| | ■ NEW【準備中】広告掲載 |



鹿屋体育大学長
金久 博昭

鹿屋体育大学の教育・研究活動に関し、日頃よりご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。本学は、令和3年(2021年)10月1日に開学40周年を迎えました。今後も、国立大学で唯一の体育系単科大学として、我が国のスポーツ・武道及び体育・健康づくりに関する教育・研究のさらなる発展に貢献できるよう努力していく所存です。

本学は2050年をターゲットイヤーとした長期ビジョン“NIFS NEXT30”を掲げ、「教育・学生支援」「研究」「国際化」「社会連携・社会貢献」の4領域におけるミッション及び第4期中期目標・中期計画期間中(令和4～9年度)のアクションプランを策定し、ミッション実現に向けて、日々、精力的に活動しています。

近年の取り組みとしては、スポーツイノベーション推進機構を設置し、AI・VR・モーションキャプチャーなどを活用した研究の推進に加え、アスリートの障害予防や競技力向上を支援するデータマネジメントプロジェクト等の立ち上げにも注力しています。

また、「目指せ!鹿屋スポーツ実施率日本一共同宣言」と銘打ち、鹿屋市と共同でスポーツの普及や健康づくりをはじめとする、地域住民との交流を通じた地域活性化モデルであるBlue Winds事業を継続的に取り組み、本学の強みを生かした地域貢献・社会連携を積極的に展開しています。さらには教育・研究のデジタル化を推進し、魅力ある学びの環境づくりを加速させるための挑戦を続けています。

一方で、本学のミッション実現や新たな挑戦のためには、安定した財務基盤の確保が不可欠です。この度、本学独自の基金である、「未来創成基金」や「修学支援基金」に加え、鹿屋体育大学をご支援いただくための取り組みをまとめたパンフレットを作成いたしました。

教職員の努力はもとより、同窓生、学生・ご家族、企業・団体の皆様からのご支援を力に変え、大学ミッションの実現と新たな挑戦へ歩みを進めてまいりたいと存じます。

是非とも本紙をご一読いただき、本学へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大学を応援

未来創成基金

鹿屋体育大学の教育研究の活性化を図るとともに、国際交流及び社会連携の推進に資することを目的とし、大学全体の活動を広く支援するものとして活用します。

- 個人 3,000円以上
- 法人・団体等 10,000円以上

令和7年度より、賛助会員制度を設け、毎年、継続的にご寄附いただけるようになりました。

有料広告掲載 (バナー、学内看板等)

NEW

大学が管理及び制作する媒体に広告を掲載することができる制度です。

- 大学公式ウェブサイトバナー、印刷物、施設内掲示等

ネーミングライツ

事業者が、鹿屋体育大学の施設等に対して、企業名、商標名、企業ロゴ、シンボルマークなどを付与することができる制度です。鹿屋体育大学の教育研究環境基盤の強化に活用します。

- 年間 500,000円～

※建物(施設)名、広告パネルサイズにより金額は異なります。

- 公募対象施設等一覧

総合体育館、球技体育館、屋内実験プール
武道館、附属図書館、
海洋スポーツセンター、陸上競技場、
サッカー場、ラグビー場、ホッケー場、
野球場、テニスコート、多目的グラウンド

上記以外については、お問合せください。

鹿屋体育大学応援月間

NEW

鹿屋体育大学では、11月から12月の期間を、鹿屋体育大学応援月間と定め、同窓生、地元住民、企業の皆様と共に、大学を応援する取り組みを展開いたします。

鹿屋体育大学および学生への様々な支援のかたちをご紹介します。皆様のご協力をお願いいたします。



学生を応援

未来創成基金

鹿屋体育大学の教育研究の活性化を図るとともに、国際交流及び社会連携の推進に資することを目的とし、大学全体の活動を広く支援するものとして活用します。

- 個人 3,000円以上
- 法人・団体等 10,000円以上

令和7年度より、賛助会員制度を設け、毎年、継続的にご寄附いただけるようになりました。

修学支援基金

経済的な理由により修学が困難な学部学生、大学院生を支援することを目的として、学生の経済支援に活用します。

- 個人 3,000円以上
- 法人・団体等 10,000円以上

課外活動団体を応援

課外活動支援基金 (未来創成基金特定基金)

NEW

鹿屋体育大学の課外活動の振興及び活性化に資することを目的とし、課外活動団体全体の活動を広く支援するものとして活用します。

- 個人 3,000円以上
- 法人・団体等 10,000円以上

課外活動団体 スポンサー支援

課外活動団体に使用するウェア・競技器具等に、社名やブランド名などの表示をすることでスポンサーとして支援することができる団体もあります。詳しくは、課外活動団体へ直接ご相談ください。

Giving Campaign

全国110を超える大学で開催される学生による資金調達イベントです。

- 1大学につき1団体へ「応援票」の投票可能！
- 投票した団体へ応援メッセージを送信可能！
- 直接寄附の支援も可能！

参加団体は、応援票を獲得すればするほど、イベントを支えるパートナー企業からの活動資金を受け取るチャンスが増え、受け取った活動資金は当該課外活動団体の活動資金に充てられます。

【実施時期は不定期となります。】

(参考) 2025年10月10日(金)～19日(日)

GIVING CAMPAIGN

あなたの1票が学生の力になる

本イベントに鹿屋体育大学も参加いたします。
後援会の皆様のご支援よろしくお願いいたします。

鹿屋体育大学・学生団体を応援しよう！
日本全国の学生が資金調達する10日間

賛助会員制度

NEW

鹿屋体育大学未来創成基金では、賛助会員となっただき、継続的なご寄附により本学を支援いただく制度を設けました。

毎年10月頃、寄附のご案内を郵送いたします。

皆様のご協力をお願いいたします。



共同研究

民間機関や地方公共団体等の研究者と大学の研究者が、対等の立場で協力して、共通する研究課題について研究を行う活動です。優れた研究成果を生み出すことを目的として行われます

- 当該研究遂行に必要な経費に相当する額を委託者にご負担いただきます。
直接経費、間接経費、研究料及びその他経費の合計額です。

寄附金

大学が企業や個人から教育研究の奨励を目的とする寄附金を受け入れ、学術研究や教育の充実・発展に活動する制度です。

- 研究目的や研究者等を指定、また、寄附名称に寄附者の名称を付すことができますが、見返りとして研究成果の享受や会計検査の実施などの条件を付すことはできません。

受託研究

大学の研究者が、民間企業や地方公共団体等の外部機関（委託者）から委託を受けて研究を行い、その成果を委託者に報告する研究制度です。

- 当該研究遂行に直接必要な経費に相当する額を委託者にご負担いただきます。
直接経費と間接経費の合計額です。

クラウドファンディング

NEW

プロジェクト事業を実施するための支援金を、募集期間中にインターネットを通じて不特定多数の者から寄附金を募る制度です。

- 全ての支援者からの寄附金を受入れます。

募集は、不定期です。
事業を実施する際は、クラウドファンディング事業社において公開されます。

受託事業

大学の研究者が、民間企業や地方公共団体等の外部機関（委託者）から受託を受けて事業を行い、その成果を委託者に報告する制度です。

- 当該事業遂行に必要な事業経費に相当する額を委託者にご負担いただきます。



(その他) 関連

公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団への支援

鹿屋体育大学の教育の振興に資するために必要な助成、体育・スポーツ活動において優れた成績を収めた学生及び競技団体に対する奨学金の給与等並びに大学開放事業に対する助成等を行い、もって同大学における体育・スポーツの振興と競技力の向上に資するとともに、スポーツクラブの育成等地域スポーツの振興、国民の健康、体力の増進に寄与することを目的としています。

寄附・賛助会費のお申し込みを受け付けております。



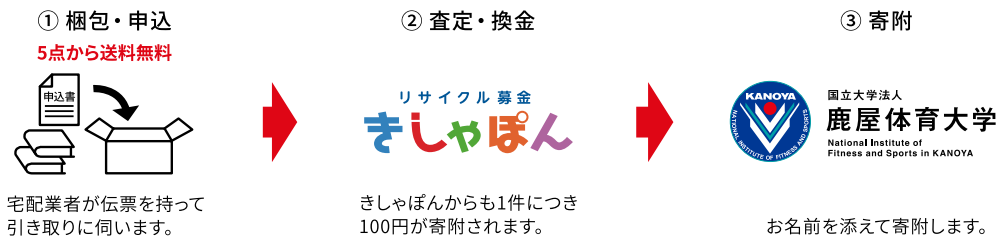
リサイクル募金

皆様から、読み終えた本や不要になったDVDなど、リユースができるリサイクル品をご提供いただき、その査定換金額が鹿屋体育大学に寄附される仕組みの募金活動の一つです。

●取扱品目



リサイクル募金の流れ



▲取り扱いできないもの タバコ、カビ臭 / 付属品の欠品 / 著しい汚れ、破損 / 週刊誌

遺贈寄附

鹿屋体育大学では、「遺言による寄附」と「相続財産からの寄附」の受入れを行っています。社会貢献や母校の発展等のために遺産を寄附したいというあたたかいご意思を、本学の将来へ活用させていただきお手伝いをいたしております。

○ご生前に、遺産の一部または全てを、特定の個人や団体などに無償で贈与する「遺贈（遺言による寄附）」として遺言書を作成し、寄附の内容を残すことで、生前のご寄附の意思や思いを伝えることができます。

○相続人が、故人から相続した遺産の一部または全てを無償で贈与することで、個人が本学に対して抱いていた生前の思いを実現し、ご家族で共有していただくことができます。



団体への応援

NPO法人 NIFSスポーツクラブへの支援

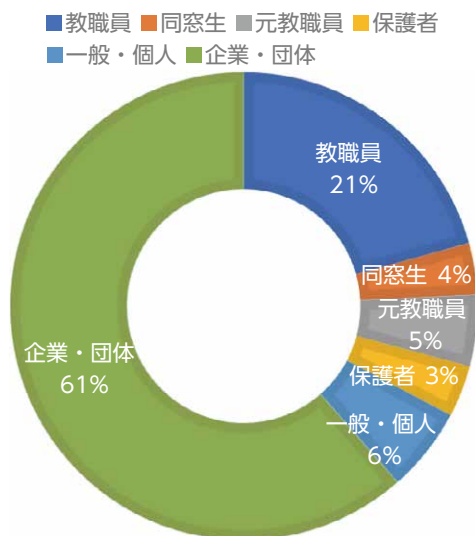
鹿屋市を中心とした、鹿児島県の人達のスポーツ活動・健康づくりを促進することを目的に、鹿屋体育大学のスポーツ施設を活動の拠点とする総合型地域スポーツクラブとして設立され、スポーツや運動の実践を通して、ジュニア層の運動能力の向上やシニア層の体力・健康づくりに貢献しています。

寄附のお申し込みを受け付けております。

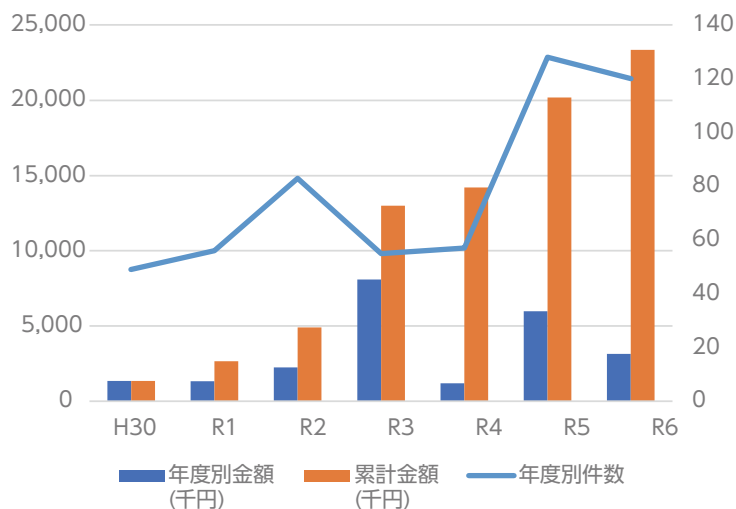


鹿屋体育大学基金(未来創成基金・修学支援基金)受入実績

■寄附者割合(令和6年度)



■金額・件数の推移(令和6年度)



【寄附金額】 3,139,212円

【寄附件数】 120件

【個人】 1,079,212円

【個人】 101件

【法人・団体等】 2,060,000円

【法人・団体等】 19件

平成30～令和6年度累計： 23,334,951円

平成30～令和6年度累計： 548件

鹿屋体育大学へのご寄附について

税制上の優遇措置

■個人の皆様

鹿屋体育大学へのご寄附は、確定申告を行うことにより、所得税及び住民税において優遇措置を受けることができます。

①所属税の控除

所得控除：「未来創成基金」、「修学支援基金」、「課外活動支援基金」、「寄附金」が対象

その年に支出した寄附金額（総所得金額の40%上限）から2,000円を引いた額を、所得税の課税所得から控除することができます。（総所得額等の40%が上限）

税額控除：「修学支援基金」が対象

その年に支出した寄附金額（総所得金額の40%上限）から2,000円を引いた額の40%が、所得税から直接控除されます。（その年の所得税額の25%が上限）

②住民税の控除

お住まいの都道府県・市区町村が、条例で鹿屋体育大学を寄附金控除の対象法人として指定している場合は、2,000円を超え総所得金額等の30%を上限とする寄附金額に対して、都道府県は税率4%、市区町村は税率6%を乗じた額が翌年の個人住民税額から控除されます。

※個人住民税の控除は、寄附をした翌年に始まる年度の個人住民税から控除されます。

■法人・団体等の場合

寄附金の全額を損金として算入することができます。（法人税法第37条第3項第2号）

※ 上記記載以外の取り組みについては、優遇措置の対象外となります。

顕彰及びご寄附への謝意

■芳名板への掲載(準備中)

鹿屋体育大学未来創成基金へ一定額以上のご寄附をいただいた皆様(個人、法人・団体等)につきましては、ご芳名を記した芳名板を事務局玄関エントランスに設置し、顕彰いたします。

顕彰時の寄附額(案)

種類	個人	法人・団体等
ゴールド	100万円以上	200万円以上
シルバー	50万円以上	100万円以上
ブロンズ	20万円以上	50万円以上

※金額は変更になる可能性があります。

■大学公式ウェブサイトへのご芳名の掲載

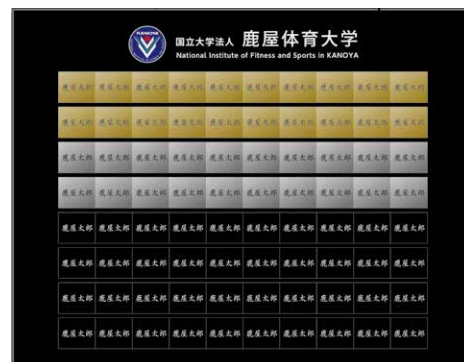
鹿屋体育大学基金へのご寄附については、ご芳名を鹿屋体育大学基金ウェブサイトに掲載させていただきます。(ご希望される方のみ)

■紺綬褒章(国からの褒章)

鹿屋体育大学は、公益のために私財を寄附された個人・団体等に授与される「紺綬褒章」の公益団体として内閣府賞勲局より認定を受けております。

個人500万円以上、団体1,000万円以上のご寄附をいただいた場合、本学から文部科学省(同省から内閣府)へ紺綬褒章の申請を行うことができます。

(イメージ案)



本学の最新情報！

□大学公式ウェブサイト



□大学公式 SNS [YouTube]



[Instagram]



[Facebook]



[X]



僕たちが
大学広報動画を作ってます！



ご寄附等のお申込み・お問合せ先

皆様からのご寄附等は、鹿屋体育大学が適正に管理し、鹿屋体育大学基金もしくは研究活動費として大切に活用させていただきます。

基金へのご寄附は、鹿屋体育大学基金ウェブサイトの「寄附申込サイトへ」から、クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー（Pay-easy）決済、銀行振込によるご寄附を選択できます。

鹿屋体育大学基金

検索

<https://www.nifs-k.ac.jp/aboutus/fund/overview/>



鹿屋体育大学 広報・企画室 企画係

0994-46-4806

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

E-Mail kikaku@nifs-k.ac.jp



大学の支援に関する問い合わせもこちらまでどうぞ

「寄附申込サイトへ」
はこちら

上記のほか、産学連携（共同研究、受託研究、受託事業）のお申込み・お問合せは、鹿屋体育大学産学連携ウェブサイトの各種ページもしくは研究・社会連携課まで

鹿屋体育大学 産学連携

検索



鹿屋体育大学 研究・社会連携課

0994-46-4871